

今 後 の 予 定

6月	
2日(金)	2 限特編授業 県高校総体～7 日 県総文祭～6/3
3日(土)	休業日(6/10 と入替)
7日(水)	3 年 歯科検診 13:15～ 委員会活動
8日(木)	3 年 就職希望者面談～14 日 2 年 眼科検診 13:30～ 課外・部活動中止(考査前)
10日(土)	出校日(JSS,JS,F1(2,3 年),ST)
14日(水)	学校交通安全日(687 回) 2 年 講演会
15日(木)	前期中間考査～20 日
17日(土)	休業日(6/24 と入替)
20日(火)	2,3 年 自衛官ガイダンス 13:00～ 3 年 第 2 回就職ガイダンス 13:00～
21日(水)	読書週間～28 日 2 年 歯科検診 13:15～
22日(木)	開校記念日 3 年 眼科検診 13:30～ 第 88 回計算技術検定試験 15:50～16:20
23日(金)	第 70 回情報技術検定試験 15:50～16:20
24日(土)	出校日(JSS,JS,F1(2,3 年),ST)
26日(月)	3 年 就職公務員模試②15:50～16:50
28日(水)	3 年 就職希望者企業見学会 1 年 耳鼻科検診 13:30～14:30
29日(木)	特編授業 3 年 保護者会 13:00～
7月	
1日(土)	学校見学ツアー開始～10 月末 求人受付開始 1 年 進研記述模試 13:30～17:00 3 年 進研記述模試 13:30～17:00
2日(日)	県模試高校入試説明会 2 年 進研記述模試 7:30～13:00 3 年 進研記述模試 7:30～13:30
3日(月)	3 年 SPI 対策テスト 15:50～16:50 職業適性検査 15:50～16:20
5日(水)	スマホケータイ安全教室 6 限目(全学年) 委員会活動 15:50～
6日(木)	特編授業 2 年 学年保護者会 13:00～16:00 1 年 眼科検診
7日(金)	第 1 回漢字検定 16:50～17:20

※予定は変更になる場合があります。



青春を
とりもどせ！

4月30日に、令和5年度文徳中学校・高等学校体育大会が挙行されました。本年度の大会テーマは高田さん(JS3千丁中)の「青春をとりもどせ！」に決まりました。当日は、降り続いた雨によるグラウンドのコンディションを鑑み、プログラムを一部変更しての実施となりました。本稿では体育大会当日の生徒たちの熱狂ぶりと団体演技完成までの軌跡をお伝えします。

開会式ののち、中学生は7メートル走から、高校生は100メートル走から競技に挑みました。ぬかるんだグラウンドに苦戦する生徒もいましたが、諦めずに最後まで走り抜けました。高校生女子による玉入れでは、各国、思わぬ白熱ぶりを見せ、玉入れの結果発表の際には、歓声が上がりました。その後の文徳サーキットでは、ぐるぐるバット、二人三脚などの身体能力ではカバーできない要素に悪戦苦闘しつつも、出場した生徒たちは思い思いに楽しんでいくようでした。文徳サーキットの最終組は、大塚先生、佐藤大輔先生、米田先生、貞岡先生、川野先生、飯田先生の教職員対決となりました。スタートダッシュの際、



熊本市西区池田 4-22-2
文徳高等学校広報部発行
TEL096-354-6416
FAX096-359-2373

生活信条

- 一、奉仕精神を旺盛にする
- 一、人の立場を深く理解する
- 一、物を大切にすること
- 一、礼儀作法を実践すること



白団団長の選手宣誓

大塚先生へのレディーファーストこそありましたが、レースは付度なしの激戦となり、観戦した生徒たちも大盛り上がりでした。中学生による団対抗全員リレーでは、応援席の高校生からの熱烈な応援もあり、各国拮抗したレースとなりました。その後の学年別のクラス対抗リレーは、各クラスの団結と意地のぶつかり合いとなり、盛り上がりは最高潮に達しました。特筆すべきは三年生女子の部で見事に1位を掴んだ3F1です。リレーメンバーで運動部に所属している生徒はわずか一人だったため、担任の宮本先生はこの結果を受けて大変驚いていました。

競技は1年生による集団行動と集団演技に移ります。1年生は村上千(1T2荒尾第三中)の号令のもと、機敏な集団行動をみせてくれました。1年生はクラス対抗リレーや集団行動の練習を通じてクラス間の仲が深まり、新たな人間関係を構築することができたようでした。

2、3年生の女子のダンスは、各学年に所属するダンス同好会



美術部制作のバックボード

のメンバーが中心となって先生方と話し合い、選曲、振り付け、隊形などを考えました。インターネット上のダンス動画を参考に、小道具を合わせたアレンジなど、試行錯誤を重ね、本番を迎えました。ダンスの得意、不得意に関わらず、参加した生徒が自分なりに楽しむことのできるダンスができたようでした。

2、3年生の選抜男子による集団行動は、松原くん(3F2菊池南



青団の演舞の様子

「団員間と連携が取れない大変さもあつたけど、消極的だった自分から積極的に行動できる自分」に成長することができました。」優勝した青団団長の駒井くん(3F1京陵中)は、体育大会を振り返り、このように語ってくれました。応援団が本格的に動き始めたのは、体育大会の約2週間前、4月13日でした。各国で演舞のすり合わせと団員の追加募集を行い、翌週から練習がスタートしました。限られた時間の中で、たとえば、演舞が次第に団員の色で染まり、最終的には本年度の応援団員にしかできない演舞を完成させることができました。

2、3年生男子によるエッサッサでは、中野くん(JS1文徳中)の指揮下で力強い演技が披露されました。エッサッサで名高い日本体育大学出身の宮本先生の指導のもと、練習を重ねてきました。

中)が指揮を務めました。3年生が中心となって指導を行い、皆で一丸となつて練習に取り組んで、俊敏さの中にユーモアを兼ね備えた見事な集団行動を披露してくれました。

3年ぶりに崇城大学グラウンドで開催された体育大会は、生徒たちの熱狂と歓声の中、生徒たちの青春を取り戻して幕を下ろしました。

ご家庭からの返信欄

文徳点描 658 号～661 号

締切 6/14 (水)

ご家庭での生徒の様子や文徳点描の感想など自由にご記入ください。

テキスト

____年 クラス____ No____ 生徒氏名____ 記入者名____

部 活 動 表 彰

◆バドミントン部

・令和5年度九州高校生バドミントン春季リーグ戦
男子

1 部優勝 文徳A

通山くん(3F3 力合中)	葛原くん(3F4 合志中)
土井くん(3T1 荒尾第三中)	岩崎くん(3T2 錦ヶ丘中)
宇多田くん(3T2 帯山中)	

1 部 3 位 文徳B

村崎くん(2T1 松橋中)	浦田くん(2T2 荒尾海陽中)
日野くん(2T2 荒尾第三中)	土井くん(1T2 荒尾第三中)
村上くん(1T2 荒尾第三中)	

2 部優勝 文徳D

西田くん(2F3 市城南中)	山部くん(2T1 錦ヶ丘中)
森本くん(2T2 井芹中)	猿渡くん(1JS3 龍田中)
松田くん(1F2 帯山中)	

2 部 3 位 文徳C

久松くん(3JS3 合志中)	高島くん(3JS4 西合志南中)
木下くん(3F4 力合中)	脇くん(3ST 北部中)
江口くん(3T1 松橋中)	

女子

3 部 3 位

久保田さん(3JS2 荒尾海陽中)	宮本さん(3JS4 京陵中)
村田さん(3F1 三和中)	近藤さん(3F1 京陵中)
實田さん(2JS3 泗水中)	山里さん(2F2 井芹中)
西村さん(1JS1 竜北中)	柳田さん(1JS1 松橋中)
大城戸さん(1F4 西山中)	

◆ソフトテニス部

・令和5年度国体予選ソフトテニス大会熊本県予選会 準優勝
松本くん(2F3 託麻中) 佐伯くん(2F4 中央中)

◆硬式野球部

・RKK 旗争奪選抜高校野球大会 優勝

森平くん(3F4 湖東中)	川上くん(3F4 七城中)
安武くん(3F4 北部中)	西村くん(3T1 城西中)
古川くん(3F3 城西中)	山隈くん(3F4 龍田中)
川端くん(3F2 長嶺中)	辻崎くん(3F2 鹿児島喜界中)
川端くん(2T2 牛深東中)	福山くん(2F2 東京小平第二中)
横原くん(3T2 七城中)	丸山くん(2T2 玉南中)
林田くん(2T1 天明中)	山内くん(2T2 阿蘇西原中)
守田くん(3T1 松橋中)	永見くん(2T2 泗水中)
柴田くん(3T1 益城中)	佐藤くん(3T2 阿蘇中)
濱口くん(2T1 河内中)	穴見くん(1T1 愛知金屋中)



硬式野球部



ソフトテニス部 松本・佐伯ペア



バドミントン部 文徳A

今、困っている人

相談してください

生徒指導部

新年度が始まり、2ヵ月が過ぎようとしています。新学年となり、生活のリズムが少しずつ出来てきたことでしょう。人間関係に困っている人はいませんか？

1人で悩まず、抱え込まず、相談してください。

「いじめは空気がだ」9年前、いじめによって自ら命を絶った男子中学生の言葉です。皆さんはこの言葉の意味をどう捉えますか？少なくとも彼が未来に希望を持っていたとは考えられません。今回はいじめでわが子を亡くした母親の手紙を紹介します。

私には、一つだけ大切な宝物がありました。でも私はその宝物を失くしてしまいました。私の息子は、中学3年生の夏休み最後の日に亡くなりました。いじめを苦しめての自殺でした。私が部屋で首を吊って亡くなっている息子を見つけた時、息子の顔はとても怒ったような顔をしていて、母親の私に「親ならわかれよ。どうして僕の苦しみ気づかないのか」と責めているように感じました。通夜、葬儀、すべて自宅でいま



ありません。いじめほど恐ろしいものはありません。

今、困っている人、悩んでいる人、相談してください。誰でもいいのです。必ず、話を聞いてくれる人がいます。命ほど大切に、尊いものはありません。テストの結果、部活動の成績は、失敗しても取り戻せます。失敗してもいい、負けていいのです。命ある限り、何でも立ち上がれます。

いよいよ今週末から高校総体、高文祭が始まります。失敗を恐れず、仲間を信じ、君を支えてくれるすべての人に感謝して全力を出し切ってください。君たちの青春の1ページに足跡を残してください。がんばれ文徳生、文徳生に幸あれ。

交通安全教室

5月17日に交通安全教室を実施しました。例年は1年生対象の行事でしたが、コロナ禍の中で3年間実施できていなかったため、今年度は全校生徒を対象に実施しました。KDS熊本ドライビングスクールより島津美沙様を講師としてお招きし、交通事故の統計や実例、保険制度、法改正と自転車のルールなどについてお話しいただきました。講師の先生が学生時代に実際に事故にあった経験をお話しながら、交通事故の際にすること、注意しなければならぬことについて教えていただきました。お話の後、生徒会長の米野さんが「高校生が関わっている交通事故が多いと知り驚きました。自分ごととして交通ルールを守り、安全に配慮した交通マナーを心がけたいです。」と謝辞



周辺視野の訓練を実演

先生として母校へ 教育実習生に聞きました！

吉野 愛貴先生 英語

普通科進特コース卒業
熊本学園大学外国語学部

英米学科

◆高校時の部活動ダンス同好会
◆高校の思い出

高校2年生の時の文化祭です。クラスみんなで役割分担をしながら遅くまで準備してました。当日の出店も楽しく行うことができました。お話をした後、生徒会長の米野さんが「高校生が関わっている交通事故が多いと知り驚きました。自分ごととして交通ルールを守り、安全に配慮した交通マナーを心がけたいです。」と謝辞

◆教育実習で勉強になったこと

一つの授業をするのに様々な準備が必要なこと。授業内容だけでなく、生徒やクラスの様子も観察しながら、どのような授業をしたら生徒に寄り添った、またより良いものになるか考えることが難しかったです。

◆大学で取り組んでいること

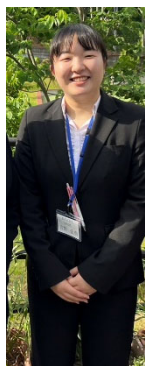
外国人留学生との交流です。様々な国からの留学生がいます。一緒にご飯を食べたり、ゲームをしたりなど、自分の英語力向上だけでなく、他国の文化についても知ることが出来ます。

◆進路実現に向けて大事なことは？

まずは自分の頭で進路を考えることが大切だと思います。何が好きなのか、何をしたいのか、自分

分を知ることから始めてみるといいかなと思います。目標が決まれば、それに向けて少しずつでも努力をし、最後までやり抜いて見せると決意することが大切です。

◆高校生へ向けてメッセージ
外の世界にも目を向け、挑戦したいことがあるのなら進んで挑戦してみてください。つらいこと、大変なこともあるかもしれませんが、ポジティブ思考で、様々な経験を積んでみてください。



つづきは4面へ
5月号に記載できなかった3名は次号記載予定です。

広告

チャンネル登録お願いします！



『文徳 YouTube チャンネル』

登録者数、720人突破！！

裏面がご家庭からの返信欄です

東大合格の卒業生とのインタビュー動画はこちらから↓



【企業訪問報告】

県内企業の求める人材

進路指導部 就職編

2024年に卒業する大学生・大学院生を対象にした新卒採用の会社説明会が3月1日解禁され、就職活動が本格的に始まっています。新型コロナウイルス禍で落ち込んでいた経済状況の好転を背景に、企業の採用意欲は高く、昨年に続き学生優位の「売り手市場」になっています。熊日新聞社と地方経済総合研究所が県内主要企業を対象にした採用に関する調査では、41.1%の企業が採用を増やすと回答しています。

◆「今年度の採用計画90名(短大卒、専門学校卒、高卒)の内、80名は高卒から採用する。男女問わず、幅広く採用していきたい。人材育成に力を入れていく。自己研鑽に努めていくことが大切だ」と思っている。チャットGPTの出現により、人間の役割として何ができるかを考えていきたい。コロナ感染拡大で乗客が激減するなど、これまで考えたことがなかった。今まで通りという考え方では駄目だということを痛感した。自分達から積極的に打って出ることが大切だ。より良いサービスを提供していけるように、現場の声を大切にしていける。鉄道事業一社だけでできることではないが、街の賑わいを作り出し、住みよいまちづくりに貢献していきたい。(九州旅客鉄道) ◆「選考試験では、学科試験を取

り止め、適性検査と面接試験を実施している。本社の判断だが、適性試験で本人の特性がよくわかる。面接試験は長くはないが、文書を暗記して話すような生徒は求めている。自分の考え、言葉でコミュニケーションがしっかりとれることを望んでいる。(堀場エステック) ◆「新空港になって、仕事内容が一変した。検査機械は最新のものが導入され、列をなして待たせることがなくなった。利用客は、コロナ感染拡大前の80%まで回復してきている。国際線は、毎日1便だけ(韓国線)が飛んでいる。2便飛ぶようになれば活気が出てくる。空港保安検査では、機械化が進んでも、人の手は簡単に減らない。(熊本空港警備) ◆「生産現場から入社するが、将来の部門は大きく変わる。ホワイトカラーやブルーカラーの違いはなく、給与体系は一本化している。学歴に関係なく、好奇心を大切にいろんなことに挑戦していく姿勢が、本人の可能性を大きく広げ、自分が思い描くキャリアに持っていくことができる。他社の求人が増えることになると思うが、弊社の魅力をよく理解し、積極的に応募して頂きたい。(本田技研工業熊本製作所) ◆「TSMCの進出があり、間違いない。熊本は半導体生産の拠点になる。昨年、派遣社員を1755名採用した。工場の増設が行わ

れており、昨年の4か所に続き、今年も新たに3か所に工場を建設する。現在、20か所に工場を構える。東京エレクトロンの協力会社として、半導体製造装置の製造に取り組んでおり、以前からTSMCとの関わりは深い。ICチップを作るロボットを取り付けるために、12人の選抜チームがどのメーカーよりも早くJASMに入る。TSMCの進出によって、関連会社20社は間違いなく入ってくる。TSMCの採用人数にその分を加えると、3千人を超える状況になる。(くまさん

メディアクス) 就職面談は、4月からずっと継続しています。6月8日からは、担任の先生にも同席をして頂き、7月1日から始まる求人受付に向けて、生徒の意思確認に全力を注ぎます。5月11日には、3年生対象に第1回就職ガイダンス及び公務員強化指導を行います。人生の大きな決断には、就職試験の最前線に立つ自覚と覚悟が求められます。本人の覚悟があいまいだと、就職試験の重圧に耐えきれず、簡単に跳ね返されてしまいます。「人手不足」、「売り

手市場」などの言葉が飛び交っていますが、希望する企業から内定を頂くためには、先ず何よりも自身を磨いていくことが求められます。高校生の就職は一人一社制であり、校内選考を乗り越え、更には他校生との勝負に勝たなければなりません。これからの一日一日を大切に、就職試験に向けて本気で準備を進めてください。 文徳高校は、生徒一人ひとりの進路保障のために、全力を尽くします。

有無の確認は、目視によって行われてきました。しかし、AIにディープラーニング(深層学習)させることで、これまで人間にしかできなかったことをAIが代用していくことが期待されているのです。 この技術は半導体とも相性が良く、製造工程での完成品に目では見えづらい(な)にしろここで生産される半導体の大きさは12ナノメートル(傷や不良がないかをAIがチェックできる日が間もなくやってくるでしょう。 さらに、この技術は金融面にも応用できます。例えば、「リスクをできるだけ少なくして、最大の利益を上げるにはどのような株銘柄を組み合わせるとよいか」をAIに考えさせるわけです。データサイエンスが解決できる課題が社会の多岐にわたっていることがお分かりいただけるでしょう。だからこそ、この情報融合学環では理系分野のみならず文系分野も学んでいくのです。 さて、入試についても言及しておきましょう。「情報系」というと、これまでは理系のイメージが強かったと思いますが、この学環では文系・理系の両方から受験ができます。個別学力試験では英語と数学が課される予定です。文系型の受験では、個別学力試験で数学IIIが除外され、その分英語の配点が高くなるそうです。ただし、大学入学後に、文系の生徒が履修していない数学IIIや理科の専門科目についてはフォローアップ教育がなされます。 半導体の分野では特に、国内だけで仕事はできなくなっています。この分野では県内の中小企業もすでに、海外への異動が当たり前になってきているそうです。そうなる、英語でのコミュニケーションが求められるのは言うまでもありません。英語は文系理系問わず入試においてはほぼ必須科目ですが、社会に出て必須のスキルになりつつあります。 「使える」英語力は対策をして身につくものではありません。日々の学習をベースに、実用英語技能検定やGETETCにも積極的にチャレンジしていきましょう。

JASM進出に伴う

熊本大学での新しい学び

進路指導部 進学編

高校総体も終わり、3年生はいよいよ受験に向け、切り替えていく時期です。既に志望は固まっていると思いますが、志望校を考えるうえで、将来、社会とどのような接点を持ちたいか、という視点は欠かせません。急速な社会の変化に伴い、高校や大学で学ぶ内容、さらには入試もめまぐるしく変化しています。今回は、私たちにとって最も身近な「熊本」で起きている変化に目を向けたいと思います。

エアを誇るTSMC。その23番目の工場であるJASMは2024年12月生産開始を目指し、工場の建設が現在急ピッチで進められています。この工場が稼働するために欠かせないのは「人材」です。実は熊本県には半導体関連企業が多数名を連ね、この分野における工業出荷額は増加傾向にあります。JASMの工場が稼働する2024年以降は、さらに30%程度の成長が見込まれているのです。今後の半導体産業の高い成長見込みに加え、TSMCの熊本進出により、研究教育体制の充実と半導体教育を受けた人材の供給が県内の大学に強く求められていることは明らかです。

一口に「半導体」といっても、情報系の専門知識だけでは対応できません。半導体の仕組みを理解するためには「化学」の知識が、製造には「材料」に関する知識が必要になります。また、「データサイエンス」を利用し、社会の幅広いDX課題を解決できる人材の育成が求められています。社会の抱えるDX課題は理系分野に限らず、行政や経済面にも応用できるものなので、法律や経済についても知っておく必要があります。つまり、社会の抱える課題は一つの分野だけで解決できるものではなく、様々な視点を持ち合わせておくことが重要となるわけです。

ちなみに、DX課題とは、これまでは担当者が長年の経験と勘で対処してきたことを、情報処理、データサイエンス、デジタル技術等を利用して、代用や発展させることができるような課題のことを指します。一例をあげるならば、農作物の等級の選別(形や傷の有無の確認)は、目視によって行われてきました。しかし、AIにディープラーニング(深層学習)させることで、これまで人間にしかできなかったことをAIが代用していくことが期待されているのです。

◆「現場では、資格が求められるが、人を動かすことができる人間関係を築くことが大切である。あの人の現場で働きたいと思われたい。また、地元との関係を大切にしていけることは、企業の大きな信頼に繋がっている。職場環境は一変した。現場は、朝8時に開始し、夕方5時に終了している。完全週休二日制で、年間125日を休業日している。事務所

も夕方5時半までには殆ど帰宅している。建設業は、3Kのイメージがあったが、今は働く人を守る職場になっている。今後、建設業を目指す生徒さんには、ICT、3Dなど電子機器を扱ってもらう必要がある。現在、最先端の勉強会をしている(五領建設) ◆「今年度の採用計画90名(短大卒、専門学校卒、高卒)の内、80名は高卒から採用する。男女問わず、幅広く採用していきたい。人材育成に力を入れていく。自己研鑽に努めていくことが大切だ」と思っている。チャットGPTの出現により、人間の役割として何ができるかを考えていきたい。コロナ感染拡大で乗客が激減するなど、これまで考えたことがなかった。今まで通りという考え方では駄目だということを痛感した。自分達から積極的に打って出ることが大切だ。より良いサービスを提供していけるように、現場の声を大切にしていける。鉄道事業一社だけでできることではないが、街の賑わいを作り出し、住みよいまちづくりに貢献していきたい。(九州旅客鉄道) ◆「選考試験では、学科試験を取

り止め、適性検査と面接試験を実施している。本社の判断だが、適性試験で本人の特性がよくわかる。面接試験は長くはないが、文書を暗記して話すような生徒は求めている。自分の考え、言葉でコミュニケーションがしっかりとれることを望んでいる。(堀場エステック) ◆「新空港になって、仕事内容が一変した。検査機械は最新のものが導入され、列をなして待たせることがなくなった。利用客は、コロナ感染拡大前の80%まで回復してきている。国際線は、毎日1便だけ(韓国線)が飛んでいる。2便飛ぶようになれば活気が出てくる。空港保安検査では、機械化が進んでも、人の手は簡単に減らない。(熊本空港警備) ◆「生産現場から入社するが、将来の部門は大きく変わる。ホワイトカラーやブルーカラーの違いはなく、給与体系は一本化している。学歴に関係なく、好奇心を大切にいろんなことに挑戦していく姿勢が、本人の可能性を大きく広げ、自分が思い描くキャリアに持っていくことができる。他社の求人が増えることになると思うが、弊社の魅力をよく理解し、積極的に応募して頂きたい。(本田技研工業熊本製作所) ◆「TSMCの進出があり、間違いない。熊本は半導体生産の拠点になる。昨年、派遣社員を1755名採用した。工場の増設が行わ

れており、昨年の4か所に続き、今年も新たに3か所に工場を建設する。現在、20か所に工場を構える。東京エレクトロンの協力会社として、半導体製造装置の製造に取り組んでおり、以前からTSMCとの関わりは深い。ICチップを作るロボットを取り付けるために、12人の選抜チームがどのメーカーよりも早くJASMに入る。TSMCの進出によって、関連会社20社は間違いなく入ってくる。TSMCの採用人数にその分を加えると、3千人を超える状況になる。(くまさん

メディアクス) 就職面談は、4月からずっと継続しています。6月8日からは、担任の先生にも同席をして頂き、7月1日から始まる求人受付に向けて、生徒の意思確認に全力を注ぎます。5月11日には、3年生対象に第1回就職ガイダンス及び公務員強化指導を行います。人生の大きな決断には、就職試験の最前線に立つ自覚と覚悟が求められます。本人の覚悟があいまいだと、就職試験の重圧に耐えきれず、簡単に跳ね返されてしまいます。「人手不足」、「売り

手市場」などの言葉が飛び交っていますが、希望する企業から内定を頂くためには、先ず何よりも自身を磨いていくことが求められます。高校生の就職は一人一社制であり、校内選考を乗り越え、更には他校生との勝負に勝たなければなりません。これからの一日一日を大切に、就職試験に向けて本気で準備を進めてください。 文徳高校は、生徒一人ひとりの進路保障のために、全力を尽くします。

有無の確認は、目視によって行われてきました。しかし、AIにディープラーニング(深層学習)させることで、これまで人間にしかできなかったことをAIが代用していくことが期待されているのです。 この技術は半導体とも相性が良く、製造工程での完成品に目では見えづらい(な)にしろここで生産される半導体の大きさは12ナノメートル(傷や不良がないかをAIがチェックできる日が間もなくやってくるでしょう。 さらに、この技術は金融面にも応用できます。例えば、「リスクをできるだけ少なくして、最大の利益を上げるにはどのような株銘柄を組み合わせるとよいか」をAIに考えさせるわけです。データサイエンスが解決できる課題が社会の多岐にわたっていることがお分かりいただけるでしょう。だからこそ、この情報融合学環では理系分野のみならず文系分野も学んでいくのです。 さて、入試についても言及しておきましょう。「情報系」というと、これまでは理系のイメージが強かったと思いますが、この学環では文系・理系の両方から受験ができます。個別学力試験では英語と数学が課される予定です。文系型の受験では、個別学力試験で数学IIIが除外され、その分英語の配点が高くなるそうです。ただし、大学入学後に、文系の生徒が履修していない数学IIIや理科の専門科目についてはフォローアップ教育がなされます。 半導体の分野では特に、国内だけで仕事はできなくなっています。この分野では県内の中小企業もすでに、海外への異動が当たり前になってきているそうです。そうなる、英語でのコミュニケーションが求められるのは言うまでもありません。英語は文系理系問わず入試においてはほぼ必須科目ですが、社会に出て必須のスキルになりつつあります。 「使える」英語力は対策をして身につくものではありません。日々の学習をベースに、実用英語技能検定やGETETCにも積極的にチャレンジしていきましょう。

崇城大学通信 No.125

専門的な能力をもつ「強い」教員を育成！ ～崇城大学の教職課程～



総合教育センター

原北 祥悟 (はらきた しょうご) 助教

本学では、工学部・芸術学部・情報学部・生物生命学部の4学部で教員免許を取得できます。今後訪れるであろう近未来の社会では、更なる情報革新や医療技術などの高度化が見込まれます。このような社会では、それぞれの専門的な能力を持つ「強い」教員が求められていくことが考えられます。本学の教職課程ではタブレット端末を活用し模擬授業をするなど、ICT機器に強い実践力の高い教員の育成に力を入れています。また、教職課程の担当教員は校長や教頭などの元学校管理職の先生や、教育委員会での勤務経験者が養成に携わっています。本学を卒業した現職の中学校の先生方と交流することで教育現場の情報をアップデートし、学生たちに還元する教育とサポートも充実しています。学部での4年間を通じて教職にかかる教育的な知識や、心理学の知識だけでなく、各学部の専門的な能力を身に着けた教員の育成が本学教職課程の特色であり目指す姿です。専門的な能力と教育学系の能力、両輪をうまく駆動させていく事で教職課程を充実させたいと考えます。

地元の熊本大学では上記の社会的ニーズに応えるべく、従来の学部組織に加える形で、「情報融合学環」を2024年4月に設置する予定です。本稿では、この「情報融合学環」にフォーカスし、社会で求められている人材とはどのようなものか、そのために大学はどのように変わらなければならないのか、この点について紹介したいと思います。 そもそも「学環」という言葉にはあまりなじみがないと思います。

「学環」とは、既存の学部組織の枠を超えて「分野横断的」な教育プログラムを展開できる学部相当の教育組織のことを指します。2023年4月に熊本大学に設置された「半導体・デジタル研究教育機構」が中心となり、同大学の先端科学研究部、人文社会科学部、生命科学部、生命科学部、熊本県立大学・東海大学とも連携し、各教員の研究分野の特性を生かした「分野横断的」な講義・研究指導体制を構築するそうです。

一口に「半導体」といっても、情報系の専門知識だけでは対応できません。半導体の仕組みを理解するためには「化学」の知識が、製造には「材料」に関する知識が必要になります。また、「データサイエンス」を利用し、社会の幅広いDX課題を解決できる人材の育成が求められています。社会の抱えるDX課題は理系分野に限らず、行政や経済面にも応用できるものなので、法律や経済についても知っておく必要があります。つまり、社会の抱える課題は一つの分野だけで解決できるものではなく、様々な視点を持ち合わせておくことが重要となるわけです。 ちなみに、DX課題とは、これまでは担当者が長年の経験と勘で対処してきたことを、情報処理、データサイエンス、デジタル技術等を利用して、代用や発展させることができるような課題のことを指します。一例をあげるならば、農作物の等級の選別(形や傷の有無の確認)は、目視によって行われてきました。しかし、AIにディープラーニング(深層学習)させることで、これまで人間にしかできなかったことをAIが代用していくことが期待されているのです。

先生として母校へ 教育実習生に聞きました！ 2面からのつづき

松永 大和先生 地理 普通科普通コース卒業

- ◆日本経済大学経済学部 経済学科公務員コース
- ◆高校時の部活動 剣道部
- ◆高校の思い出は？

文徳で過ごした3年間はあっという間に終わったという印象でとても濃く充実した3年間だったと感じています。行事ごとの思い出も多くありますが、毎日朝から晩まで友達と過ごす生活がとても楽しく、勉強と部活動に全力で打ち込んだ学校生活のすべてが思い出です。

◆教育実習で勉強になったこと

授業を通した学びがとても多かったです。ICT機器が活用され、先生方の工夫や生徒への想いを知り、新たな発見や気づきが多くありました。また、授業を作成し、実践すること、生徒に伝えることの難しさを痛感しましたが、生徒が理解してくれた時はうれしく、やりがいも感じました。

◆大学で取り組んでいること

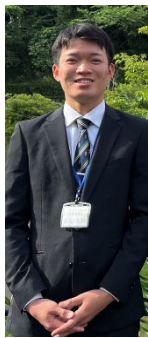
教職課程での勉強と部活動に力を入れて取り組んでいます。それぞれ、夢や目標の実現に向けて「文武両道」を心がけています。

◆進路実現に向けて大事なこと

自分の夢や目標を達成するための過程をどのように取り組むかが大事だと思います。現状や課題を自己分析して、自分が取るべき行動を選択し、実践することができていなかった、私自身の高校時代の反省でもあり、現在心がけていることです。

◆高校生へ向けてメッセージ

何事にも一所懸命コツコツと頑張っていれば、必ず楽しいことや嬉しいことがあると思います。失敗を恐れず挑戦する心を忘れずに高校生活を全力で楽しんでください！



岩田 琉亜先生 公民 普通科進特コース卒業

- ◆久留米大学 法学部 国際政治学科
- ◆高校時の部活動 軟式野球部
- ◆高校の思い出

友人と過ごした毎日が思い出です。今でも部活と3年間のクラスの友人とは連絡を取って集まります。今はその当時の思い出話で盛り上がっています。

◆教育実習で勉強になったこと

教員の一日というものを体験し、思っていた以上に忙しく、どんな思いで授業に臨んでいるのかということを知ることができました。先生の工夫、思いが詰まった授業、ホームルーム、すべてが勉強になりました。数年前に生徒の自分にもっと真剣に取り組めと説教してやりたいくらいです。

◆大学で取り組んでいること

大学で取り組んでいることは、サークル活動とボランティア活動です。仲の良い友達と軟式野球のサークルを立ち上げ、久留米市の野球連盟に所属し、楽しむことをモットーに野球をしています。ボランティア活動では、久留米市と一緒に河川や池での外来種駆除活動を行いました。

◆進路実現に向けて大事なこと

気持ちを切らず保ち続けることだと思います。学年が上がるにつれ、模試を受けることが多くなると思います。どんな結果がでも一喜一憂せず走り続けることが重要です。

◆高校生へ向けてメッセージ

高校生のうちにしかできないことをとことんやってください。就職する人は学校での行事に「人生最後」がつきます。進学する人は、たぶん人生が一番勉強するのは大学受験だと思います。どちらの人も後悔のないように頑張ってください。



芥川 丈先生 保健体育 普通科進特コース卒業

- ◆関西学院大学 人間福祉学部人間科学科
- ◆高校時の部活動 軟式野球部
- ◆高校の思い出

目をこすりながら朝課外に行き、夜遅くまで部活動に励むという充実した毎日が一番の思い出です。心身ともに非常に苦しかったですが、ともに頑張っている仲間、同志として目標に向かって勤しむことが今では一番の思い出です。私はきつい瞬間でもとにかく楽しんでいました。

◆教育実習で勉強になったこと

生徒は十人十色で色々な個性を持っているため、そこを知りつつ、磨き上げつつも、クラス全体をまとめるということが非常に難しかったです。特に体育実技は個々で能力が違うので、生徒たちをまとめることは難しかったですが、その中でも楽しく授業を行えるように工夫しました。

◆大学で取り組んでいること

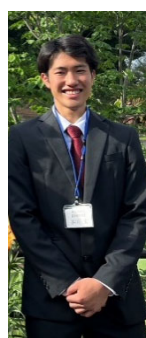
私は体育会スケート部スピード部門で励んでいる傍ら、不登校児へのボランティア支援も行っています。大学生活は色々なことに挑戦でき、活動できる機会も多いです。したがって私は色々な場所にアンテナを張り、自分の将来への可能性も広げています。

◆進路実現に向けて大事なこと

「積小為大」を大切にしています。小さなことを積み重ねれば、大きなことになるということです。新しいことに挑戦することもいいと思います。しかし、「あたりまえだ」、「これは絶対にできる」と思っていることでも地盤を固めなければ望む結果にならないと思います。

◆高校生へ向けてメッセージ

私は高校3年間で十分に満喫し、「楽しい学校生活」を送ってほしいと思います。私も先生方も一生味わうことのない3年間です。何か自分の目標を定めて、勉強、部活、仲間との活動、趣味に没頭し、全力で励んでほしいです。3年間は短い間ですが、自分の行動で変えることができます。



ご家庭より



白団の演舞の様子

1年普通科
学校に元気に通ってくれるか少し不安がありました。部活動に入り先輩がとても優しく声をかけてくださるので毎日楽しく行ってくれて安心しています。クラスの友達も仲良いようです。今月から朝課外が始まります。勉強も部活も頑張っています。

1年普通科
娘は初めての自転車通学、お弁当作り、部活動と新しい生活に慣れないながらも頑張っているようです。親も子の生活に早く慣れるよう頑張りますので、親子ともどもよろしく願います。

1年普通科
中学生生活の3年間、コロナのために悶々とした生活を送ってきました。文徳高校では人学式、体育大会と行われ、希望に満ちた高校生活を過ごしていることと思います。文徳高校での3年間で実り多いものになるものと親も楽しみにしています。

1年普通科
文徳高校校：どんな学校だろう？と毎日息子がたずねるも息子は「楽しいよ」だけ。文徳点描で私が知れたかったことがよくわかりました。たくさんの方が目白押しであつたんですね。たくさん学んでほしいと思いました。3年間よろしく願います。



3年女子ダンス

2年普通科
兄弟3人文徳高校に通わせていただいている我が家にとってコロナ禍明けの4年ぶりの通常開催の体育大会は大変楽しく一日中楽しませていただきました。生き生きと走り回る笑顔の高校生の姿に本当にエネルギーとパワーを感じさせられ、やっぱり「生き生きと生きるってイイナ」と心から思いました。先生方のご指導に感謝です。

1年普通科
新生活にも慣れ、充実した毎日を送っているようです。部活後帰宅すると洗濯をして、風呂食事洗濯物を干して早めに就寝しています。翌日の学校の準備も前日に済ませるようになりました。毎朝弁当も自分で作っています。

1年普通科
入学式がありとうございました。ネット配信してくださいましたので、いけなかった家族も見ることができ、うれしかったです。コロナ生活も終わり少しずつ以前の日常になると思いますが楽しい学校生活となればありがたいです。

2年普通科
新学期が始まり、クラス替えも行われましたが、色々な友達と話す機会があるようです。しかし、前のクラスの友達と話すと多いうで、前のクラスの友達、今のクラスの友達ともに大事にしていくってほしいと思います。

3年普通科
文徳高校での最初で最後の体育大会。はじめから終わりまで親子で堪能しました。目の前で頑張っている子ども達に声をあげて応援する。「あー、これこれ」って感じてした。久しぶりに心から楽しかったです。



白団の演舞の様子

2年普通科
あつという間に1年が経過し、まずは無事に2年に進級できホッとしております。クラス替えがあり1年でできた友達と離れてしまったようで、当初不安な表情が多く心配しましたが、何とか頑張って登校している。この調子で上手くやってほしいと思っています。4月は慌ただしく過ぎてしまいましたが、30日にあった体育大会は特にエッサッサがかっこよかったです。力強い姿が見られてうれしかったです。

3年普通科
入学式の様子、新人生研修の記事を読み、息子のその時を思い起こしました。あつという間に3年生になり入学して初めての終日開催の体育大会。天気に翻弄されながらも無事開催され、楽しかったと帰宅した息子の顔に私もとても嬉しかったです。当たり前の日々感謝を忘れず、目標に向けて「本気」で頑張ってください。そしてそれに気づけるよう私自身も「本気」で見守ってきたいと思っています。

3年普通科
ご縁あつて男子バレー部の試合の応援に行きました。生徒さんの闘う姿、保護者の方の応援を見て、私も一緒に応援することができ元気を頂きました。家に帰ってから最近、朝起きられなくなつた子どもに「バレー部に負けられんね」と声をかけると「それな」との返事。一生懸命頑張る姿は伝染し、周りの人をも前向きな心にするのだなあと感じました。心より応援しています。

3年普通科
早いもので、あつという間にもう最終学年になってしまいました。1日も早く進路先を決めて、それに向けての勉強を頑張るとともに最後の1年学校行事なども全力に取り組み、たくさん思い出を作りたいと思います。

3年普通科
入学式の様子、新人生研修の記事を読み、息子のその時を思い起こしました。あつという間に3年生になり入学して初めての終日開催の体育大会。天気に翻弄されながらも無事開催され、楽しかったと帰宅した息子の顔に私もとても嬉しかったです。当たり前の日々感謝を忘れず、目標に向けて「本気」で頑張ってください。そしてそれに気づけるよう私自身も「本気」で見守ってきたいと思っています。

編集後記

4月26日に卒業生の大相撲で新十両昇進が決まった藤青雲(ふじせいうん)と親方の藤島親方(元大関武双山)が来校され、学校から化粧廻しを贈呈させていただきました。藤青雲は5月28日の千秋楽を終え、9勝6敗と見事勝ち越しました。今後も活躍を期待したいです。来校時の様子はYouTubeチャンネルとブログにも上がっています。また、文徳点描は過去5年分がホームページ上でカラーで見られます。あわせてご覧ください。